



2025年1月10日 株式会社ビオスタイル

# 阪神・淡路大震災30年、防災と日常を考える 「サステナブルパッキング」企画展開催

株式会社ビオスタイル(本社:京都市下京区、社長:三浦達也)が運営する複合型商業施設GOOD NATURE STATIONでは、2025年1月11日(土)から1月31日(金)までの期間、防災に焦点を当てた企画展「サステナブルパッキング」を開催いたします。



昨年12月に開業5周年を迎えた「GOOD NATURE STATION」では、「5YEARS 5GOOD」をテーマに、社会 貢献活動を含むさまざまなイベントを展開しています。本年1月は「GOOD for Social」をテーマに、阪神・淡路大震災から30年という節目を機に、日常生活に防災を取り入れる意識を広げる取り組みを行います。

本イベントは、現役防災士や防災意識の高い2企業と連携し、日常生活における防災の重要性を幅広い層に 伝える取り組みです。これらの専門家や企業が協力し、実践的かつ魅力的なプログラムをお届けします。

【本リリースに関するお問合せ・ご取材希望について】

株式会社ビオスタイル 広報宣伝部 担当: 中久保 TEL:075-352-6677

e-mail: nakakubo-rina@biostyle.co.jp

#### ■GALLERY企画展「サステナブルパッキング」

旅の準備と防災に共通する「パッキング」を通じて「自分に とって必要不可欠な持ちもの」を見直し、選び抜いたものを大 切に使い続けることがいざという時の支えになるという考え方 を提案します。

自身と大切な人を守るため、「持つべきもの」を見つめ直す きっかけを提供する企画展です。

期間: 2025年1月11日(土)~31(金)



展示イメージ

#### ■関連イベント

「日常から防災まで」を主題に防災士の講演・防災用ふろし きを使った講習・保存食レクチャーを開催。

#### 【主なプログラム】

防災士講演:正しい備えとその根拠

現役防災士・太田興氏が、防災の優先順位やローリングストックの有効性について解説します。

実践講習:ふろしきを活用した防災術

山田繊維株式会社/むす美の山田悦子氏が、日常生活や災害時 に役立つふろしきの活用法を伝授します。

野菜の保存食講座:保存食と野菜摂取の重要性

カゴメ株式会社の近澤佳俊氏が、被災後の健康維持に役立つ保 存食と野菜ジュースの活用法について講演を行います。

また、手のひらで簡単に推定野菜摂取量をチェックできる機器 「カゴメ ベジチェック®」での無料測定も実施します。

# 【詳細】

日時:2025年1月17日(金) 13時~15時

場所:4階「ワークショップテーブルエリア」

定員:12名(参加費無料)

予約: https://goodnaturestation.com/activity/experience/activity-18350/

#### 【講師】



太田興さん



山田悦子さん



前回開催時の様子



カゴメ ベジチェック®



# ■SDGsを実現するライフスタイルを提案する

#### 京阪グループの「BIOSTYLE PROJECT」について

健康的で美しく、クオリティの高い生活を実現しながら、SDGsの達成にも貢献していく。京阪グループでは、そんな循環型社会に寄与するライフスタイルを「ビオスタイル」として展開し、お客さまにご提案しています。規制や我慢だけから生まれる活動ではなく、"人にも地球にもいいものごとを、毎日の生活の中に、楽しく、無理なく、取り入れていくことができる明るい循環型社会の実現"に貢献するため、京阪グループにできうる様々な活動を推進していきます。



▶ 「BIOSTYLE PROJECT」について詳しくはこちら

https://www.keihan.co.jp/corporate/sustainability/biostyle/

# ■株式会社ビオスタイルについて

株式会社ビオスタイルは、京都・四条河原町に2019 年12 月に開業した複合型商業施設「GOOD NATURE STATION」の運営会社。京阪ホールディングス株式会社のグループ会社として、京阪グループが推進する"SDGs を実現するライフスタイル"を企画・提案する「BIOSTYLE PROJECT」を牽引し、"信じられるものだけを、美味しく、楽しく。人も地球も元気にする「GOOD NATURE」"というコンセプトの下、サステナブルな商品開発、施設運営を行っています。これらの企業活動を通じ、SDGs 達成に貢献するとともに、社会と調和した持続的な成長を目指します。